

行政経営評価（施策評価）

コミュニティの視点 (生活と空間)	8. 広 域	「移住・定住推進」「国際交流」「男女共同参画」のほか、市単位で行ってきたもので外部と連携した方が効果的・効率的と考えられる分野を【広域コミュニティ】に該当する分野と捉えます。
------------------------------	---------------	---

施策分野	目指すべき姿
8-① 移住・定住推進	潜在的な移住希望者に対する積極的な働きかけを行うとともに、本市を選んでもらえるような生活環境を整備し、多くの都市住民に移住してもらえるまち
8-② 国際交流	市民一人ひとりが、異文化理解を深め、外国人住民と相互コミュニケーションが図られる多文化共生のまち
8-③ 男女共同参画	市民一人ひとりが、人として尊重され、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するまち
8-④ 広域連携（再掲）	ごみ処理や道路整備、消防、観光振興など、市独自で対応することが困難、あるいは非効率な分野について、関係市町等と広域的に連携して取り組むまち

■まちづくりの視点

市民の視点	行政区域にとらわれない市民・民間の連携を深める
行政の視点	広域的視点に立ったまちづくりに取り組む
協働の視点	市外の諸資源をまちづくりに積極的に活かしていく

■成果指標と現状

指標名 (対象分野)	計画策定時 (基準年度)	3年後 (2021年度目標値)	現状 (最新)	5年後 (2023年度目標値)	10年後 (2028年度目標値)
① 移住相談者のうち本市への移住者数 (移住・定住促進)	4人 (2017年度)	延べ 10人	延べ 30人 (2022年度)	延べ 14人	延べ 24人
② 移住相談件数 (移住・定住促進)	111件 (2017年度)	140件	129件 (2022年度)	160件	210件
③ 国際交流協会会員数 (国際交流)	109人 (2018年8月末)	140人	81人 (2022年度)	160人	160人
④ 日本語教室受講者数 (国際交流)	2018年6月 開講	延べ 340人	延べ 234人 (2022年度)	延べ 380人	延べ 480人
⑤ 審議会等における女性委員の割合 (男女共同参画)	26.4% (2018年4月1日)	30.0%	28.5% (2022年度)	40.0%	50.0%
⑥ 家族経営協定の締結数 ※ (男女共同参画)	144件 (2017年度)	149件	166件 (2022年度)	151件	156件

※家族経営協定：家族で取り組む農業経営について、経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境について家族みんなで話し合いながら取り決め協定を結ぶもの。「家族経営協定」を結ぶことによって認定農業者制度などのメリットがある。

成果指標と現状の分析
<p>移住・定住促進の分野では、移住相談者のうち本市への移住者数の値は順調に推移しているものの、転出超過が続いている現状を踏まえると、更なる取組の強化が必要である。令和2年度から開始した地域おこし協力隊は、都市部の人材に移住してもらい、更に地域活動の人材確保にもつながる効果的な取組となっている。令和4年度は8人の隊員を委嘱した。今後も取組の拡大を図りつつ、任期満了を迎える隊員には、定住定着に向けたサポートを行う。</p> <p>国際交流の分野では、コロナ禍での入国制限などにより、一時的に外国人住民人口が減少したものの、令和4年度に入り再び増加傾向になるなど、引き続き多文化共生に向けた取組の必要性は高まっている。指標の値は目標値を下回る状況が続いているものの、今後は、感染防止対策を徹底した上で、対面での活動を再開していく。</p> <p>男女共同参画の分野では、指標の値が目標値に近い水準で推移している。令和4年度は第4次男女共同参画計画を策定した。今後も目標達成に向け、更なる取組を推進していく。</p>

行政経営評価シート

事業ID	10201083702
------	-------------

事務事業名	移住・定住推進経費	所管	企画室
-------	-----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	8-(1)-1移住促進に向けた情報発信の充実
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	銚子市の人口減少対策として移住・定住策を講じることで、将来的な人口の流入を目指す。
	対象	主に首都圏に居住する住民
	事業内容	銚子を知ってもらおうきっかけづくりのため千葉県などと連携し、都内等での移住セミナーや相談会を開催する。

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	206	105	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
						52	53

事業の実績と成果	活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
	移住相談件数		回	目標値	50
			実績値	129	79
		%	達成率	258	158
移住セミナー及び相談会実施回数		回	目標値	3	3
			実績値	5	2
		%	達成率	166.7	66.7
事業成果指標項目			目標値		
			実績値		
		%	達成率		
移住相談者のうち本市への移住者数		人	目標値	2	2
			実績値	12	4
		%	達成率	600	200
()			目標値		
			実績値		
		%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					

事業の検証	事業の課題	移住施策の成果は、事業単独での成果にとどまらず、子育て施策、コミュニティづくりなどまちづくり全体の成果として表れることが多いため、本事業の直接の成果を図りづらい。																						
	評価視点			総合評価																				
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当																				
	高い	やや高い	やや低い																					
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)																				
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	○							現状維持					縮小					休廃止				
拡充	○																							
現状維持																								
縮小																								
休廃止																								
	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大																			
皆減	縮小	現状維持	拡大																					
コスト投入の方向性																								

行政経営評価シート

事業ID	10201086202
------	-------------

事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（多文化共生）	所管	企画室
-------	---------------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	8-(1)-6 その他【移住・定住促進】
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	本市への新たな人の流れをつくるため、都市部の人材を地域おこし協力隊として委嘱し、移住してもらう。隊員は、地域課題の解決や地域資源の活用につながる地域活動に従事しながら、任期終了後も本市へ定住することを目指す。
	対象	地域おこし協力隊制度の地域要件対象となる都市部の人材
	事業内容	多文化共生を推進する地域おこし協力隊を委嘱する。経費の全額が地方交付税（特別交付税）で措置される。

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	10,899	5,837	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							5,837

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			地域おこし協力隊員数（多文化共生）	人
	%	達成率	66.7	100
		目標値 実績値		
	%	達成率		
		目標値 実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値		
		達成率		
()	%	目標値 実績値		
		達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
新たに、隊員1名(R4.12着任)を委嘱し、本市への移住が実現した。隊員が2名に増えたことにより、国際交流イベント”World Travel in Choshi”の開催や、在住外国人への支援などがより一層推進された。				

事業の課題	在住外国人と日本人との交流や、在住外国人支援について、現在の地域おこし協力隊が築いた人脈と信頼を維持し、引き続き事業を行っていく人材の確保が必要だと思われる。				
事業の検証	評価視点			総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	
	高い	高い	高い		
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 隊員は、地域に定着し、着実に人脈を築くなどしている。現在の隊員が築いた人脈や信頼を引継ぎ、多文化共生のさらなる推進のため、現在の地域おこし協力隊の任期中に、地域おこし協力隊（多文化共生）の増員を検討していく。	
	成果の方向性	拡充	現状維持		縮小
	○				
	皆減	縮小	現状維持		拡大
	コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10201082602
------	-------------

事務事業名	国際交流経費	所管	企画室
-------	--------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	8-(2)-1 在住外国人支援の充実
	関連計画	○ : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	日本人及び外国人が共に住みやすい地域づくりを推進することにより、外国人が安心して暮らせる環境を整備することによって、多様な文化を尊重した活力ある共生社会の実現に寄与する。
	対象	市民
	事業内容	日本語教室及び交流事業を実施する銚子市国際交流協会への負担金の支出、企画室内への事務局の設置

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	210	200	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
						200	

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			日本語教室の受講者数	人	目標値 実績値
	%	達成率	78.0	66.4	
国際交流イベントの開催回数	回	目標値 実績値	3 7	3 2	
	%	達成率	233.3	66.7	
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
外国人住民人口 (住みやすい環境づくりによる人口の増加)	人	目標値 実績値	2,489 2,467	2,409 2,193	
	%	達成率	99.2	91.1	
	%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
銚子市国際交流協会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら事業を実施した。オンラインでは、やさしい日本語での交流会を引き続き実施した。対面での日本語教室では、受講者数が昨年度より増加した。さらに、国際交流フェスタなどのイベントを開催した。また、新たに台湾の桃園市と友好交流協定をオンラインにて締結した。					

事業の課題	日本語教室の運営及び日本語指導をボランティアが担っているため、運営が不安定である。				
事業の検証	評価視点			総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	
	高い	やや高い	やや高い		
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)	
	成果の方向性	拡充			
現状維持			○		
縮小					
休廃止					
コスト投入の方向性			外国人住民の増加により、外国人住民が社会生活を円滑に営むことができる環境の整備の必要性は増大している。事業の担い手となる銚子市国際交流協会の活性化に向け支援を行い、交流イベントや日本語教室を継続して実施していく。		
皆減	縮小	現状維持			拡大

行政経営評価シート

事業ID	10201080202
------	-------------

事務事業名	男女共同参画経費	所管	企画室
-------	----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	8-(3)-1男女共同参画計画の着実な推進
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	市民一人ひとりが、人として尊重され、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現する。
	対象	市民
事業内容	①男女共同参画計画の着実な推進 ②男女共同参画・人権尊重意識の啓発 ③女性活躍の推進 ④DV相談体制の充実 ⑤DV被害者支援の充実	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	399	216				216

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			男女共同参画計画推進委員会開催数	回
	%	達成率	100	100.0
		目標値 実績値		
	%	達成率		
		目標値 実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値		
	%	達成率		
()	%	目標値 実績値		
	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
男女共同参画計画を策定し、計画に対する取組状況を毎年確認し、銚子市男女共同参画推進本部及び銚子市男女共同参画推進委員会へ報告している。令和4年度は、第4次銚子市男女共同参画計画を策定した。				

事業の課題	第4次銚子市男女共同参画計画策定の際に実施したアンケート調査によると、依然として固定的性別役割意識が根強く残っていることが判明した。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	やや高い	やや高い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 第4次銚子市男女共同参画計画(令和5年度～令和9年度)に定めた取組を着実に実行していくため、進捗管理を行う。
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休廃止				
	皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10303010918
------	-------------

事務事業名	DV相談経費	所管	子育て支援課
-------	--------	----	--------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	8-(3)-4 DV相談体制の充実
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 (銚子市男女共同参画計画)
	目的	被害者の安全確保と自立の支援。また、人権の擁護と男女平等の実現を図る。
	対象	配偶者から暴力を受ける被害者
事業内容	DV相談員を配置し、DV相談に対応する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	1,292	1,283				1,283

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			DV相談受理件数	件
	%	達成率	—	—
		目標値 実績値		
	%	達成率		
		目標値 実績値 達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値 達成率		
()	%	目標値 実績値 達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
DV被害者の安全確保と自立の支援に寄与した。				

事業の課題	相談内容の複雑化により、関係機関との連携がより求められる。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			総 評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) DV相談員を配置し、配偶者から暴力を受ける被害者からの相談に応じ、必要に応じて保護を実施することは被害者の安全確保と自立の支援に資する有効な手段であると考えるため、今後も継続していく。
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
	休廃止			
	皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10201080502
------	-------------

事務事業名	広域行政経費	所管	企画室
-------	--------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	8-(4)-8その他
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	3市に共通する事務について、広域的に連携して取り組むことで、効率的に事務を進める。
	対象	東総地区広域市町村圏事務組合
事業内容	銚子市、旭市及び匝瑳市で事務を共同処理する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	46,279	46,279					46,279

事業の実績と成果	活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
	3市合同研修実施回数		回	目標値	7
実績値				7	8
達成率				100	100
		%	目標値		
			実績値		
			達成率		
事業成果指標項目		%	目標値		
			実績値		
			達成率		
()		%	目標値		
			実績値		
			達成率		
()		%	目標値		
			実績値		
			達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
職員採用、人事研修などの事務を共同処理することで、これらの事務負担が軽減されている。					

事業の検証	事業の課題	広域行政の取組が一部事務組合で行っている職員採用や人事研修、このほか広域ごみ処理施設の建設・運営などに限られている。人口減少が進む中で、事務の合理化、効率化を図るためにも幅広い分野で広域的な取組や対応が必要となっている。																								
	評価視点				総合評価																					
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当																						
	高い	高い	高い																							
	今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>○</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </table>					成果の方向性	拡充	/	/	/	/	現状維持	/	/	○	/	縮小	/	/	/	/	休廃止	/	/	/
成果の方向性	拡充	/	/	/	/																					
	現状維持	/	/	○	/																					
	縮小	/	/	/	/																					
	休廃止	/	/	/	/																					
コスト投入の方向性		<p>総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>共同処理をすることで事務負担の軽減及び人件費を含む経費が削減されるほか、3市合同で研修を実施することで、人材交流と将来的な広域連携の強化につながる。</p>																								